

第5章

頑張る学校の紹介

趣旨

学校が創意工夫して取り組む様子を、県は積極的に紹介したいと考えております。

今年度は、一人一人の学力を伸ばすための手だてとして、本調査の結果などを活用した「成長の記録」を作った、新座市立新堀小学校と毛呂山町立光山小学校の取組を紹介します。



新座市立新堀小学校の取組

1 本校の概要

学校教育目標 ・学ぶ子ども ・仲よくする子ども ・健康な子ども ・はたらく子ども

本校は今年度、開校42年目を迎え児童数388名、12学級の学校です。今年度より「個に応じた学力向上」を最重要課題とし、学力向上プランに基づく授業改善や基礎学習定着の時間の実施、3年生以上の算数の授業で習熟度別少人数学習を展開しています。

2 本校の成長の記録

(1) ねらい

児童一人一人に基礎的・基本的な知識、技能を確実に習得させ、主体的に学習に取り組む態度を育むため、埼玉県学力・学習状況調査結果を分析し、課題を明らかにして家庭と連携して「個に応じた学力向上」に取り組んでいます。4年生2学級を習熟度別少人数4コースに分けるとともに、学校と家庭を往復する個に応じた算数カード(下図)を作成しました。カードには明らかにした課題を解決するため、今後、学校でどのように個に応じた学習を進めるかを具体的に記入しました。家庭での取組等を児童本人に記入させ、保護者が確認する欄を設け、各家庭に学校での取組を理解してもらい家庭での学習も依頼しました。算数カードを学校と家庭で交換することにより、児童の現在の課題を学校、家庭とが共有し、課題解決に向け継続的に連携することで学力向上を図っています。

(2) 導入までの校内での状況

本取組の成果を検証できる検証方法と学力調査結果について、算数部会を中心に十分に分析し、個に応じた取組を検討しました。

先生と家の人と一緒にがんばろう!



新堀小学校 4年生 算数カード

3 活用しての手ごたえ

(1) 児童の様子

自己の課題解決方法が記入されているカードを受け取り、算数への学習意欲が高まりました。個の課題に応じた宿題プリントを毎週1回取り組んだことで算数の授業に主体的に取り組むようになりました。

(2) 教員の感想

個に応じた課題を解決するため、家庭と連携することで、家庭学習の時間が増える等、成果をあげることができました。

(3) 保護者の受け止め

保護者会等で算数カードについて説明し協力を依頼しました。保護者は協力的で、家庭学習の定着につながりました。

学年・組・名前	4年 組 番 名前()
算数に関するアドバイス	4年生では角の大きさや面積を求める学習が大切です。分度器を使って角の大きさはかったり、三角定規を組み合わせてできた角の大きさを求めたりする練習をたくさんしましょう。
学校での取組(先生から)	角や面積に関するプリントを計画的に配布します。
家庭での取組(本人記入)	
保護者から	印
折り返し地点	確認テスト1(先生から) ()月()日
	家庭での取組(本人記入)
保護者から	印
確認テスト2 5年生に向けて	
5年生に向けて(本人記入)	
保護者から	印

青は学校記入です。赤は家庭記入です。

4 他校へのメッセージ

算数カードを作成して児童の実態に応じて取り組むとともに、毎週1回個に応じた課題を宿題としたことで、家庭との連携が推進できました。

お子さんたちを見ると、「伸びる時期」、「伸びるスピード」は様々ですが、一人一人はしっかりと成長しています。私たちは、お子さんたちが現在の實力を知り、「どれだけ自分が伸びたか」を実感し、自信を深めていくことを大切にしたいと考えています。毎日の積み重ねを大切にしましょう。



毛呂山町立光山小学校の取組

1 本校の概要

本校は、埼玉県毛呂山町東部に位置し、川角駅や武州長瀬駅とも近く、埼玉医科大学、城西大学、明海大学といった学校文化施設が多い、緑豊かな地域です。開校41周年を迎え、現在282名の児童が元気に通う、通称「ひまわりの学校」といわれる小規模校です。児童は、「ひまわりっ子」と言われるように明るく元気な児童が多く、学校教育目標である「心豊かな子 すすんで学ぶ子 たくましい子」のもと、全教職員が、よい学校を創っていこうという共通理解のもと 一すべては子ども達のために一 日々教育活動に励んでいます。

2 本校の成長の記録

(1) ねらい

本年度は、「確かな学力の定着を目指した学習指導の工夫～一人一人の児童の伸びを大切に授業の創造～」を研究主題として、「できたから嬉しい。嬉しいからもっとやりたい」児童の育成を目指して、一人一人の学力を少しでも向上させていくことにしました。

(2) 導入までの校内での検討状況

一人一人の学力を上げるために → 授業研究部・調査統計部・学習支援部での検討

- 1 授業改善＝「分かる授業」を行う。…授業研究会（ブロック1・元気のある授業研究会）
- 2 授業内容を定着させる方策を練る。…30秒計算タイム、学力アップタイム、朝学習
- 3 知能と学力の関係を調査し、個々の児童の学力アップ策を練る。…個人カルテ（下図）

※個人カルテについて

研究推進委員会、各部の検討では、学習内容の系統性から見て、児童の学力を単年度のみの分析ではなく、①複数年度行う必要性があること、②多角的な視点（県学力・学習状況調査、人間地区学力調査、知能検査等）で行うことの汎用性、③その児童の個性（知能・意識・理解度）を知ることの重要性が挙げられました。

3 現段階での手ごたえ

現在、個人カルテの作成段階にあります。作成に際し、児童の成績データ、学習の様子など、複数の教員の目で見直し、分析するよい機会となっています。今後、日々の授業において、作成段階で気付いたことを児童の学力の状況や学習の定着度に応じて指導し、より一層の個人の理解度の把握と指導の改善が図れると考えます。

4 今後の展開

個人カルテを活用し、1月に行う検証テストに向け、一人一人の児童の学力向上を目指して、全職員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。まだまだ改良していきたいので、アドバイスをいただけたらと思っております。

児童氏名	光山 太郎						在籍学級	5年1組						入学年度	平成23年度					
学力調査結果	人間地区算数学力テスト						埼玉県学力学習状況調査						●学力調査結果・TK式知能検査・アンケート結果の考察 ○解決のための具体的な手立て							
	正答数	正答率	領域別				正答数	正答率	領域別				4年生							
4年生 (H26)	15	60%	数と計算	量と測定	図形	数量関係	16	57%	数と計算	量と測定	図形	数量関係	●面積を求める問題に誤答が多く見られる。図を見て、対象の図形のため、横の長さを選び出すことが苦手である。 ○図形に赤青鉛筆で色を塗りながら、たて、横を見つけることができるように指導を行う。学力アップタイムでは、単純な正方形・長方形の問題をはじめ、複合図形の問題へとスムーズにテップで解かさせていく。							
平均 (H26)			75%	79%	90%	83%	64%						●自分の考えを書き表したり、それを友達に伝えたりすること、苦手を感じている。 ○ヒントカードの活用、T2による個別指導、少しでもノートに書くことができたに賞賛する。							
5年生 (H27)	20	80%	88%	86%	75%	67%	20	71%	69%	100%	60%	60%	●数直線の活用に課題がある。数直線を書くことができても、ちらが被除数でどちらが除数を判断することができない ○「1から矢印が出ること」「口に向かって矢印が進むこと」を感じて覚えておく。また、答えの見直しを促すことで、数直線に違和感を持た、考え直すことができるようにする。 ●算数の学習を楽しんでいる様子が見られるようになった。で、発表については苦手意識が残っている。 ○考えをノートに書けるようになってきたので、小グループで習を行う中で、順序だてて話す練習を行う。発表の仕方の活用。							
平均 (H27)			73%	75%	67%	74%	72%						●5年生							
6年生 (H28)													●数直線の活用に課題がある。数直線を書くことができても、ちらが被除数でどちらが除数を判断することができない ○「1から矢印が出ること」「口に向かって矢印が進むこと」を感じて覚えておく。また、答えの見直しを促すことで、数直線に違和感を持た、考え直すことができるようにする。 ●算数の学習を楽しんでいる様子が見られるようになった。で、発表については苦手意識が残っている。 ○考えをノートに書けるようになってきたので、小グループで習を行う中で、順序だてて話す練習を行う。発表の仕方の活用。							
平均 (H28)													●6年生							
成績のグラフと変化																				
TK式知能検査	学年	2年	4年	6年	傾向		所見													
	正答率%	52%	58%		↑															
	知能偏差	37	40		↑															
アンケート結果	質問項目						4年6月	4年2月	5年6月	5年2月	6年6月	6年2月								
	1 算数が、好きですか。						○	◎	◎											
	2 30秒計算を解くことは得意ですか。						○	○	◎											
	3 自分の力だけで授業の課題を解決することができますか。						○	○	◎											
	4 自分の考えをノートに書くことはできますか。						△	○	◎											
	5 自分の考えを友達に伝えることはできますか。						△	△	◎											
	6 先生や友達の話を聞いて、気づいたことを発表することができますか。						△	△	△											
	7 次の中で、楽しいと思う学習は何ですか(複数回答可)						①、②	①、②	①、②											
							①…数と計算	②…図形	③…量と測定	④…数量関係										